

1 倉敷市水島コンビナート活性化検討会

- (1) 設立:平成17年8月
- (2) 目的:本市産業の基幹となる水島コンビナートの活性化に向けて立地企業と倉敷市が広く協議し、地域産業の発展に寄与する
- (3) 構成:下記企業の製造拠点の副所長または部長、倉敷市副市長(文産局担当)で構成
企業 :旭化成(株)、ENEOS(株)、(株)クラレ、JFEスチール(株)、
三菱ガス化学(株)、三菱ケミカル(株)、三菱自動車工業(株) 計7社
事務局:倉敷市文化産業局商工労働部商工課
- (4) 運営方法:原則、検討テーマごとにWGを設置し、必要に応じて市関係部局も参加
- (5) 主な実績:
 - ①取組・既存企業の競争力強化に向けた市の支援策の検討
⇒倉敷市設備投資促進奨励金の設置(H18)、その後の継続・改正に反映
・各社の遊休地、遊休資産の活用に向けた研究(市での活用検討)
・事故発生時の地域工法の整理
 - ②製作物・水島コンビナートPRパンフレットの作成(H22)
・水島コンビナートデータブック(HP)の作成(H29)
・小学校向け社会科副教材の作成(R1)



2 水島コンビナートカーボンニュートラル研究会(CN研究WG)

倉敷市コンビナート活性化検討会

水島コンビナートカーボンニュートラル研究会(CN研究WG)

※倉敷市水島コンビナート活性化検討会設置要領第5条(ワーキンググループ)に基づいて設置するもの

趣旨:水島コンビナートにおける2050年カーボンニュートラル実現に向けて、水島コンビナートの現状把握や、国の動向・技術開発等に関する情報収集を行い、今後の脱炭素化に向けた連携のあり方や取組等について研究する。

設置日:令和4年4月1日

構成:倉敷市、企業7社 オブザーバー:岡山県

R4事業(案):

- ①有識者を招いた勉強会(国の研究会の委員など)
- ②カーボンニュートラルに資する工場等の見学
- ③先進地視察

※アンケート調査の回答も考慮して検討する

実施回数:①~③を延べ4回程度

備考:事業の進捗状況等を見て、県の理解を得ながら県事業との連携を図っていく。



岡山県

産業振興課

・水島コンビナート
発展推進協議会
(総合特区構想)

港湾課

・水島港港湾管理者
(カーボンニュートラル
ポート)



国

他地域
大学等

3 水島コンビナートカーボンニュートラル研究会キックオフセミナーの開催

- 1 日時 令和4年6月27日(月)14時～16時
- 2 場所 水島愛あいサロン東棟 コミュニティフロア
- 3 プログラム

開会 倉敷市長

基調講演 カーボンニュートラルコンビナートの実現に向けて
成城大学 経済学部 経営学科 平野 創 教授

(経済産業省 カーボンニュートラルコンビナート研究会 委員)

講演 カーボンニュートラルに向けた経済産業省の取組と
支援策について

中国経済産業局 資源エネルギー環境部

カーボンニュートラル推進室 閑田 英敬 室長

4 主催 倉敷市水島コンビナート活性化検討会(事務局:倉敷市)

5 参加者 水島コンビナート立地企業、行政(国・県・市)等 約80名



4 先進地視察の実施

- 1 日時 令和4年11月17日（木）・18日（金）
- 2 場所 川崎市・横浜市
- 3 概要 川崎市におけるCNK・CNP実現に向けた官民連携組織の運営手法のほか、水素サプライチェーンやメタネーションの技術開発等について視察を行う。
- 4 参加者数 20名
- 5 参加者 水島コンビナート立地企業（総務系・技術系）、岡山県、倉敷市（事務局）

